国民年金・厚生年金保険・船員保険・共済年金・年金生活者支援給付金
未支給年金・未支払給付金請求書及び受給権者死亡届（報告書）について

未支給年金とは①②の年金となります

年金の支払いは、お亡くなりになった月分までとなります。

- ① 年金を受けている方がお亡くなりになった時にまだ受け取っていない年金
- ② お亡くなりになった日より後に振込みされた年金のうち、お亡くなりになった月分までの年金

この請求書は、お亡くなりになった方にお支払いをすべき年金があるとき、その人と生計を同じくしていた遺族（下の枠内）が未支給の年金として請求をする際に使用します。また、年金の受給権がある人が請求せずにお亡くなりになった場合、未支給請求者が請求を行うときにも使用します。

未支給の年金を請求できない方は、4ページの死亡届（報告書）のみ記入してください。

（※）遺族の範囲は次のとおりです。

未支給の年金を受けることができる方および順位

①国民年金・厚生年金保険・船員保険・共済年金（JR、JT、NTT、農林を除く）

死亡した受給権者と生計を同じくしていた配偶者、子、父母、孫、祖父母、兄弟姉妹、その他3親等内の親族（注）

（注）子の配偶者・配偶者の父母、孫の配偶者、兄弟姉妹の配偶者、配偶者の兄弟姉妹、配偶者の祖父母、曾孫、曾祖父、曾孫の配偶者、甥・姪、おじ・おば、甥・姪の配偶者、おじ・おばの配偶者、配偶者の曾祖父母、配偶者の甥・姪、配偶者のおじ・おば

上記以外にも配偶者の子（配偶者の前婚における子）等民法上における3親等内の親族も含まれます。

②共済年金（JR、JT、NTT、農林に限る）

1. 死亡した受給権者と生計を同じくしていた配偶者、子、父母、孫、祖父母

（子または孫は、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にあって配偶者がいない人または組合員であった人の死亡当時から引き続き障害等級の1級もしくは2級に該当する障害の状態にある人）

2. 上記1以外の死亡した受給権者の相続人（配偶者、子、父母、孫、祖父母、兄弟姉妹、甥姪等）

◇未支給の年金を受けることができる方の順位は、配偶者、子、父母、孫、祖父母、兄弟姉妹、その他3親等内の親族の順位となります。なお、同順位者が2名以上ある場合は、そのうちの1名が代表して請求してください。

◇自分より先順位者がいる場合は、未支給の年金を受けることはできません。

◇配偶者には、市区町村には届出はしていないが死亡した受給権者と事実上婚姻関係と同様の事情にあった方も含まれます。

◇被用者年金一元化法施行（平成27年10月）以降に、複数の年金を受ける権利が発生した方がお亡くなりになった場合には、この請求書を日本年金機構または共済組合等のいずれか1ヶ所に提出することにより、それぞれの年金の手続きが可能となります。

※未支給の年金及び未支払の年金生活者支援給付金のいずれも受けることができる場合は、この請求書の提出により両方の給付の請求をしたこととなります。

なお、未支払の年金生活者支援給付金を受けることができる遺族の範囲は上記①と同様です。

ただし、共済組合等から支給される年金のみを受給されている方の未支払の年金生活者支援給付金請求書の提出先は日本年金機構となります。

この請求書に添えなければならない書類

※ 死亡届（報告書）のみを提出する場合の添付書類は、4ページをご覧ください。

項番	必要な添付書類	添付理由	注意事項
①	☐ 年金証書 （死亡した受給権者分）	・年金証書の回収のため	・添付できない場合は、「年金受給権者死亡届（報告書）」に事由をご記入ください。
②	☐ 戸籍謄（抄）本	・死亡した受給権者と請求者との身分関係を明らかにするため	・市区町村長の証明書でも代替できます。 ・請求者の戸籍謄（抄）本で身分関係が明らかにならない場合は、追加書類が必要となる場合があります。
③	☐ 住民票（除票）	・受給権者の死亡の事実を明らかにするため ・死亡した受給権者と請求者との生計同一関係を明らかにするため	・死亡の事実を明らかにする書類は、戸籍謄（抄）本、死亡診断書（コピー可）でも代替できます。 ・生計同一関係を明らかにする書類は5ページを参照してください。
④	☐ 世帯全員の住民票	・死亡した受給権者と請求者との生計同一関係関係を明らかにするため	・生計同一関係を明らかにする書類は5ページを参照してください。
⑤	☐ 預貯金通帳（コピー可）	・口座の確認	・詳しくは、2ページを参照してください。

【個人番号（マイナンバー）で請求される場合】

○ 請求者の個人番号（マイナンバー）を記載いただいた場合は、上記③、④の書類を省略できます。

○ 個人番号（マイナンバー）で窓口でご請求される場合は、マイナンバーカード（個人番号カード）を提示してください。

お持ちでない場合は、以下の①および②を提示してください。なお、郵送で請求書を提出する場合は、マイナンバーカードの表・裏面または①および②のコピーを添付してください。

①マイナンバーが確認できる書類：通知カード、個人番号の表示がある住民票の写し

②身元（実存）確認書類：運転免許証、パスポート、在留カードなど

◇ 請求者が配偶者で、市区町村長に届出はしていないが、死亡した受給権者と事実上婚姻関係と同様の事情にあった方は、その事実を明らかにする書類が必要です。

◇ 死亡した受給権者名義の送金通知書があれば必ず一緒にご提出ください。

◇ 代理の方が手続きをする場合は、ご本人の委任状、代理人の本人確認ができる書類が必要です。

◇ 添付書類は「コピー」「コピー可」と記載されているもの以外は、原本を添付してください。

◇ 戸籍謄本、住民票等（年金請求等を目的として交付されたものを除きます。）の原本については、お客様から原本返却のお申出があった場合に限り、お返しいたします。（第三者証明、診断書等、原本返却できない書類もあります。）

記入上の注意

(未支給年金・未支給給付金請求書および受給権者死亡届(報告書)に共通した注意事項)

1. 請求者および届出者本人が自ら署名する場合、押印は不要です。
(押印される場合は3ページ、4ページに押印してください)
2. ①には死亡した受給権者の個人番号または基礎年金番号・年金コードをご記入ください。
また、死亡した受給権者が複数の年金を受けていたときは、すべての年金コードを記入してください。ただし、年金毎に未支給請求される方が異なる場合は、請求する年金コードのみご記入ください。
なお、①に記入すべき年金を請求中であるときは、②に年金の種類、提出した年金事務所の名称および提出年月日を記入してください。
3. ②および③の元号は、該当する文字を○印で囲んでください。
4. ◆は、死亡した方が厚生年金保険・船員保険・統合共済(三共済(JR、NTT、JT)・農林共済)の年金のみならず、共済組合等で支給する共済年金も受給していた場合、併せて共済の未支給年金(未済の年金)の請求を希望するかどうか、該当する文字(はい・いいえ)を○印で囲んでください。共済年金と国民(基礎)年金のみを受けている方は、別途、共済組合等に請求が必要です。
5. ④には請求者または届出者の電話番号をご記入ください。(携帯電話も可)

(未支給年金・未支給給付金請求書にかかる注意事項)

6. ⑤は、「金融機関」または「ゆうちょ銀行(郵便局)」のいずれか一方を記入し、口座番号などについて金融機関またはゆうちょ銀行(郵便局)の証明を受けてください。なお、年金事務所などの窓口で直接預貯金通帳を持参される場合や、預貯金通帳の写し(金融機関名、支店名、口座番号、口座名義 人フリガナが記載された部分)を添付される場合は、金融機関の証明は必要ありません。口座をお持ちでない方や口座でのお受取りが困難な事情がある方は、お受取り方法について、「ねんきんダイヤル」またはお近くの年金事務所にお問い合わせください。
7. ⑥は、受給権者が死亡した当時、受給権者と生計を同じくしていた配偶者、子、父母、孫、祖父母、兄弟姉妹、その他3親等内の親族の各欄の該当する文字(いる・いない)を○印で囲んでください。
8. ⑦は、共済年金の未支給年金を請求する場合、該当する文字を○印で囲んでください。
9. ⑧は請求者が配偶者または子の場合であって、住民票上世帯を別にしているが、住所が住民票上同一であるときに記入してください。受給権者の死亡当時は同じ世帯であったが、世帯主の死亡により世帯主が変更されたことが住民票から読み取れない場合も、記入してください。

※死亡届(報告書)のみを提出する場合の添付書類は、死亡届(報告書)をご覧ください。

年金受給権者死亡届(報告書)・未支給年金・未支給給付金請求書という年金給付、年金生活者支援給付金の種類

(国民年金)

老齢基礎年金、老齢年金、通算老齢年金、障害基礎年金、障害年金、遺族基礎年金、寡婦年金、母子年金、準母子年金、遺児年金

(厚生年金保険)

老齢厚生年金、老齢年金、特例老齢年金、通算老齢年金、障害厚生年金、障害年金、障害手当金、遺族厚生年金、遺族年金、通算遺族年金、特例遺族年金

(船員保険)

老齢年金、通算老齢年金、特例老齢年金、障害年金、障害手当金、障害差額一時金、障害年金差額一時金、遺族年金、通算遺族年金、特例遺族年金、遺族一時金、遺族年金差額一時金

(共済年金)

退職共済年金、退職年金、減額退職年金、通算退職年金、障害共済年金、障害年金、遺族共済年金、遺族年金、通算遺族年金

※ただし、共済年金の特例支給部分は除きます。

(年金生活者支援給付金)

老齢(補足的老齢)年金生活者支援給付金、障害年金生活者支援給付金、遺族年金生活者支援給付金

※死亡した受給権者が年金給付の年金請求書を提出していなかったときは、その年金請求書とその添付書類が必要です。

※審査の過程で、添付していただいた書類以外の書類が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※請求書を提出されてから未支給年金が支払われるまでにおおむね3ヶ月かかります。

未支給年金・未支払給付金請求書

※基礎年金番号(10桁)で届出する場合は左詰めで記入してください。

二次元コード

45 46 48 [職員記入欄] 死亡した方が年金生活者支援給付金を受給されていた場合は右欄に☑
1 個人番号(または基礎年金番号)および年金コード
2 生年月日 明治・大正・昭和・平成・令和
3 死亡した年月日 昭和・平成・令和

死亡された方

死亡した方が厚生年金保険・船員保険・統合共済の年金以外に共済組合等で支給する共済年金も受給していた場合、あわせて共済の未支給年金(未済の給付)の請求を希望しますか。 ※共済年金と国民(基礎)年金のみ受けている方は、別途共済組合等に請求が必要です。 はい・いいえ

4 (フリガナ) 氏名(氏) (名)
7 郵便番号
8 (フリガナ) 住所
9 年金受取機関
金融機関コード 支店コード
金融機関 貯金通帳の口座番号

請求される方

10 受給権者の死亡当時、受給権者と生計を同じくしていた次のような人がいましたか。
配偶者 子 父 母 孫 祖父母 兄弟姉妹 その他3親等内の親族
いる・いない

11 死亡した方が三共済(JR、NTT、JT)・農林共済年金に関する共済年金を受けていた場合に記入してください。
死亡者からみて、あなたは相続人ですか。(相続人の場合には、続柄についても記入してください。) はい・いいえ (続柄)

12 備考

請求される方で、別世帯の配偶者または子の場合

13 別世帯となっていることについての理由書
次の理由により、住民票上、世帯が別となっているが、受給権者の死亡当時、その者と生計を同じくしていたことを申し立てます。(該当の理由に○印をつけてください。)
理由 1. 受給権者の死亡当時、同じ住所に二世帯で住んでいたため。
2. 受給権者の死亡当時は、同じ世帯であったが、世帯主の死亡により、世帯主が変更されたため。

死亡した受給権者と請求者の住所が住民票上異なっているが、生計を同じくしていた場合は「別居していることについての理由書」が必要となります。用紙が必要な方は「ねんきんダイヤル」またはお近くの年金事務所などにお問い合わせください。詳しくは5ページの「生計同一に関する添付書類一覧表」をご覧ください。

◎「個人番号」欄は、記入しないでも構いません。
◎「個人番号」欄は、記入しないでも構いません。
◎「個人番号」欄は、記入しないでも構いません。

市区町村 受付年月日

実施機関等 受付年月日

令和 年 月 日 提出
年金事務所記入欄
※遺族給付同時請求 有(上)・無(下)
※死亡届の添付 有・無

国民年金・厚生年金保険・船員保険・共済年金・年金生活者支援給付金

届書コード	処理区分コード	届書
8501		

受給権者死亡届(報告書)

※基礎年金番号(10桁)で届出する場合は左詰めでご記入ください。

死亡した受給権者	① 個人番号(または基礎年金番号)および年金コード	個人番号(または基礎年金番号)	年金コード (複数請求する場合は右の欄に記入)						
	② 生年月日	明治・大正・昭和・平成・令和		年		月		日	
	⑦ (フリガナ) 氏名	(氏) (名)							
	③ 死亡した年月日	昭和・平成・令和		年		月		日	送信

届出者	④ (フリガナ) 氏名	(氏) (名)	⑤ 続柄	※続柄
	※ 未支給の有無	⑦ 郵便番号	⑧ 電話番号	
	③ (フリガナ) 住所	※住所コード	市区町	送信

◎ 未支給の年金・給付金を請求できない方は、死亡届(報告書)のみ記入してください。

◎ 死亡届のみを提出される方の添付書類

- 死亡した受給権者の死亡の事実を明らかにすることができる書類
(個人番号(マイナンバー)が収録されている方については不要です)
 - 住民票除票(コピー不可)
 - 戸籍抄本
 - 死亡診断書(コピー可) などのうち、いずれかの書類

- 死亡した受給権者の年金証書
年金証書を添付できない方は、その事由について以下の項目に○印を記入してください。

(事由)

ア. 廃棄しました。	(年 月 日)
イ. 見つかりませんでした。今後見つけた場合は必ず廃棄します。	
ウ. その他()	

⑨ 備考	
------	--

市区町村
受付年月日

実施機関等
受付年月日

令和	年	月	日	提出
年金事務所記入欄				
※遺族給付同時請求			有(上)・無	
※未支給請求			有・無	

生計同一に関する添付書類一覧表

添付書類については、1ページの「この請求書に添えなければならない書類」もご欄ください。

1. 請求される方が配偶者または子の場合

請求者の状況区分	提出書類
住民票上同一世帯に属しているとき	世帯全員の住民票（死亡した受給権者は住民票の除票）※
住民票上世帯を別にしているが、住所が住民票上同一であるとき	① それぞれの世帯全員の住民票（死亡した受給権者は住民票の除票）※ ② 別世帯となっていることについての理由書（または④欄にご記入ください）
住所が住民票上異なっているが、現に日常生活を共にし、かつ、生活上の家計を一つにしているとき	① それぞれの世帯全員の住民票（死亡した受給権者は住民票の除票）※ ② 同居についての申立書 ③ 別世帯となっていることについての理由書 ④ 生計を同じくしていた事情をご存じの民生委員・町内会長・家主・事業主など 第三者の証明書またはそれに代わる書類
単身赴任、就学または療養などのやむを得ない事情により住所が住民票上異なっているが、その事情が消滅したときは、日常生活を共にし、生活上の家計を一つにするとき 例① 生活費、療養費などの経済的な援助が行われている場合 ② 定期的に音信、訪問が行われていること	① それぞれの世帯全員の住民票（死亡した受給権者は住民票の除票）※ ② 別居していることについての理由書 ③ 生活費など経済的な援助および定期的な音信、訪問が行われていた申立書 ④ 生計を同じくしていた事情をご存じの民生委員・町内会長・家主・事業主など 第三者の証明書またはそれに代わる書類

2. 請求される方が死亡された方の父母、孫、祖父母または兄弟姉妹、その他3親等内の親族である場合

請求者の状況区分	提出書類
住民票上同一世帯に属しているとき	世帯全員の住民票（死亡した受給権者は住民票の除票）
住民票上世帯を別にしているが、住所が住民票上同一であるとき	それぞれの世帯全員の住民票（死亡した受給権者は住民票の除票）
住所が住民票上異なっているが、現に日常生活を共にし、かつ、生活上の家計を一つにしているとき	① それぞれの世帯全員の住民票（死亡した受給権者は住民票の除票） ② 同居についての申立書 ③ 生計を同じくしていた事情をご存じの民生委員・町内会長・家主・事業主など 第三者の証明書またはそれに代わる書類
住所が住民票上異なっているが、生活費、療養費などについて生活の基盤となる経済的な援助が行われているとき	① それぞれの世帯全員の住民票（死亡した受給権者は住民票の除票） ② 経済的援助についての申立書 ③ 生計を同じくしていた事情をご存じの民生委員・町内会長・家主・事業主など 第三者の証明書またはそれに代わる書類

第三者の証明書に代わる書類（生計同一のわかるもの）について

（次のいずれかの書類をご用意ください。コピーでも差しつかえありません）

事項	提出書類
健康保険などの被扶養者になっている場合（国民健康保険は該当しません）	被扶養者であることを明らかにするこのできる健康保険被保険者証または組合員証など
給与計算上、扶養手当などの対象になっている場合	給与簿または賃金台帳など
税法上の扶養親族になっている場合	源泉徴収票または課税（非課税）証明書など
定期的に送金がある場合	定期的に送金されていたことのわかる現金封筒または預貯金通帳など

◇提出書類の「同居についての申立書」、「別世帯となっていることについての理由書」「生活費など経済的な援助が行われている申立書」などについてご不明な場合は、ねんきんダイヤルまたは年金事務所へお問い合わせください。

◇審査の過程で、添付していただいた書類以外の書類が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。